

主要品目産地概況と販売見通し（令和7年11月）

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）
はくさい	¥ 87	¥ 70	▲	=	=	¥ 80（¥ 106）
	産地概況		長野産は上旬にて終了で、以後は茨城・石川産の入荷。石川産若干生育遅れ気味で中下旬に向けて増量見込み。			
	総入荷量		475 t	前年比 100 %		
キャベツ	¥ 92	¥ 75	=	=	△	¥ 110（¥ 216）
	産地概況		愛知県産主力の入荷。現状生育1週間程度の遅れ。少なかった昨年とは違い平年並みに出回る見込み。			
	総入荷量		350 t	前年比 140 %		
ねぎ	¥ 500	¥ 380	=	▼	▼	¥ 380（¥ 400）
	産地概況		石川、福井産の束と埼玉、群馬産の入荷。平年並みの出荷となる見込み。			
	総入荷量		70 t	前年比 100 %		
ほうれん草	¥ 785	¥ 680	▽	▼	=	¥ 500（¥ 644）
	産地概況		岐阜県産・静岡県産主力に、県内産・北関東産の入荷。岐阜県産は中旬以降は減少見込み。少なかった昨年とは違い平年並みに出回る見込み。			
	総入荷量		60 t	前年比 146 %		
小松菜	¥ 263	¥ 265	=	=	=	¥ 270（¥ 411）
	産地概況		県内産・北関東産の入荷。平年並みに出回る見込み。			
	総入荷量		55 t	前年比 92 %		
アスパラガス	¥ 1,411	¥ 1,451	=	=	▼	¥ 1,300（¥ 1,280）
	産地概況		メキシコ産の不作から前月は高値推移だったが、徐々に回復し安定した入荷を見通す。			
	総入荷量		5 t	前年比 100 %		

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

ブロッコリー	¥ 544	¥ 589	▼	▼	=	¥ 530 (¥ 522)
	産地概況	石川県産の入荷。上旬にピークとなり、中旬以降も安定した入荷を見通す。				
		総入荷量	160 t	前年比	103 %	
レタス	¥ 156	¥ 220	=	▼	▼	¥ 170 (¥ 168)
	産地概況	茨城県産を主に兵庫県産の入荷。両産地ともに安定した入荷を見通す。				
		総入荷量	100 t	前年比	106 %	
生椎茸	¥ 1,017	¥ 1,065	=	=	▲	¥ 1,070 (¥ 1,069)
	産地概況	石川共販を主体に、富山、徳島、兵庫産の入荷。数量は不安定で、気温低下に伴い、徐々に引き合いが強くなる見込み。				
		総入荷量	25 t	前年比	106 %	
しめじ	¥ 540	¥ 550	=	▼	=	¥ 620 (¥ 620)
	産地概況	JA全農長野物を中心に企業物（ホクト・ミスズ・雪国）の入荷。各産地フル生産に入るが、JA物は生育にバラ付きあり。中旬に向けて、徐々に安定する見込み。価格は、天候・野菜の動向にも左右されるが中旬以降落ち着くと思われる。				
		総入荷量	16 t	前年比	103 %	
えのき	¥ 289	¥ 300	=	▼	=	¥ 400 (¥ 399)
	産地概況	長野県産中心の入荷。各産地、フル生産の出荷となる。気温低下とともに荷動き良く、相場は上旬強保合中旬以降落ち着くものと思われる。				
		総入荷量	46 t	前年比	102 %	

品目	先月の単価			当月の市況推移			
	上中旬		下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
大葉	¥ 3,203	¥ 3,200	▲	▼	▲	¥ 3,230	(¥ 3,211)
	産地概況		愛知県豊橋温室からの入荷。夏作からの切り替わりが概ね安定してくる為、安定した入荷を見込む。上旬と下旬の連休に伴う業務需要の高まりから、相場は局所的に強めに展開するタイミングがあることが予想される。				
			総入荷量 4.5 t		前年比 102 %		
春菊	¥ 1,588	¥ 1,214	=	▼	=	¥ 1,200	(¥ 886)
	産地概況		群馬産館林農協と岐阜産飛騨農協からの入荷。岐阜県産は上昇に終了予定。 石川産金沢春菊の走り出荷始まるが少量出荷の見込み。				
			総入荷量 5 t		前年比 100 %		
南瓜	¥ 236	¥ 230	▲	▲	▲	¥ 310	(¥ 310)
	産地概況		北海道産、輸入品の入荷。北海道産は残量が少なく上旬で終了の見込み。輸入南瓜はニューカレドニア、メキシコ産の入荷。ニューカレドニアは上旬の予定、メキシコは下旬からの入荷予定。価格は昨年より強いと予想する。				
			総入荷量 52 t		前年比 102 %		
胡瓜	¥ 452	¥ 480	=	▼	=	¥ 420	(¥ 573)
	産地概況		高知県産主体に群馬、愛知、石川県産の入荷。中旬以降秋冬露地野菜の出回りが増加する見込みから、果菜の売り場も狭まり価格は徐々に下がる見込み。				
			総入荷量 130 t		前年比 116 %		
茄子	¥ 406	¥ 380	▲	=	=	¥ 400	(¥ 466)
	産地概況		高知県産中茄子、熊本、福岡県産長茄子の入荷。各産地概ね順調な入荷予想から、価格も段階的に下がる見通し。				
			総入荷量 95 t		前年比 102 %		
トマト	¥ 593	¥ 500	=	=	▽	¥ 450	(¥ 642)
	産地概況		愛知・石川県産に加え熊本県産商系の入荷。各産地、猛暑の影響を受けた前年に比べて作柄良好につき前年比増・単価安を見込む。				
			総入荷量 150 t		前年比 115 %		
ミニトマト	¥ 1,134	¥ 900	▲	=	=	¥ 900	(¥ 1,028)
	産地概況		愛知県産主体に熊本、高知の入荷。猛暑の影響も徐々に抜け、中旬以降安定した出荷に変わっていく見込み。				
			総入荷量 60 t		前年比 105 %		

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

ピーマン	¥ 746	¥ 553	▼	▼	=	¥ 550 (¥ 718)
	産地概況	高知県産を主体に鹿児島産の入荷。露地品が徐々にハウスに切り替わり数量は増加するが単価は弱保合の見通し。				
		総入荷量	48 t	前年比	120 %	
豆類	¥ 1,409	¥ 1,500	=	▼	▼	¥ 1,000 (¥ 1,200)
	産地概況	いんげんは鹿児島県産主体に高知県産の入荷。きぬさやは愛知県産主体に月末あたりから鹿児島県産の入荷予定。砂糖えんどうは愛知、静岡県産が中旬あたりから増加見込み。スナップ豌豆は愛知、鹿児島県産で中旬から徐々に増加となる見通し。				
		総入荷量	9 t	前年比	141 %	

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）
大根	¥ 123	¥ 105	▼	=	▼	¥ 90 (¥ 123)
	産地概況		石川産中心に中旬頃より千葉産の入荷。千葉産は不作であった前年に比べ、平年に近い作柄で、前年より大幅に安い見込み。			
	総入荷量		420 t		前年比 111 %	
かぶ	¥ 241	¥ 220	▽	=	▲	¥ 175 (¥ 168)
	産地概況		石川産中心の入荷。面積は減少しており、昨年よりも入荷量は減少する見込み。			
	総入荷量		42 t		前年比 81 %	
人参	¥ 150	¥ 160	▲	=	▼	¥ 150 (¥ 159)
	産地概況		上旬まで北海道産、以降は石川、富山、岐阜産等の入荷予定。石川、岐阜は猛暑の影響は懸念されるが、凶作であった前年よりは作柄はいい見込み。富山産は播種後の大雨の影響で出荷が遅れる見込み。			
	総入荷量		230 t		前年比 107 %	
蓮根	¥ 547	¥ 530	=	▼	=	¥ 510 (¥ 490)
	産地概況		石川産中心に愛知産、茨城産の入荷。各産地順調な入荷が見込まれる。			
	総入荷量		53 t		前年比 85 %	
甘藷	¥ 286	¥ 285	=	▼	=	¥ 280 (¥ 280)
	産地概況		石川産中心に千葉、茨城産の入荷。各産地掘り込み作業も上旬で終わる見込みで、順調な入荷が見込まれる。			
	総入荷量		180 t		前年比 101 %	
馬鈴薯	¥ 159	¥ 210	▲	=	▲	¥ 220 (¥ 128)
	産地概況		北海道各産地からの入荷。蔵入れを行わない一般産地の早期終了が見込まれており、尚且つ主力産地の作柄不良から前年度と比べ大幅高値を見込んでいる。			
	総入荷量		250 t		前年比 87 %	
長芋	¥ 467	¥ 480	=	=	=	¥ 480 (¥ 340)
	産地概況		北海道及び青森産、共に令和7年産新物の入荷。青森産の入荷は不透明な部分があるが、北海道産は第2週目よりの入荷となる。価格は春掘り品からのスライドの見込み。			
	総入荷量		45 t		前年比 143 %	

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

玉葱	¥ 178	¥ 190	▲	▲	▲	¥ 200 (¥ 114)
	産地概況	北海道各産地より入荷。倉入れが終了した時点で本年産の総量が見えてくると思われるが、以前よりのアナウンス通り過去に例が無い年産であり出回り量はかなり少ない見込み。総じて高単価での推移となる予想。				
		総入荷量	500 t	前年比	83 %	

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）
みかん	¥ 264	¥ 285	=	▼	▼	¥ 290 (¥ 300)
	産地概況		長崎・福岡県産入荷予定、前半から早生みかん入り、前年より数量増加見込み。			
	総入荷量		1,000 t		前年比 100 %	
柿	¥ 290	¥ 300	▲	=	=	¥ 350 (¥ 400)
	産地概況		岐阜、奈良県産富有柿の入荷。			
	総入荷量		130 t		前年比 82 %	
洋ナシ	¥ 463	¥ 440	▼	=	=	¥ 400 (¥ 270)
	産地概況		山形県産ラフランスの入荷。産地数量が少なく小玉傾向。単価は平年並みとなる見込み。中旬頃に終了予定。			
	総入荷量		63 t		前年比 50 %	
メロン	¥ 815	¥ 800	=	=	▲	¥ 880 (¥ 1,113)
	産地概況		静岡産主体に高知産の入荷。昨年は残暑の影響で数量減となったが、本年度は大きな影響もなく平年並みの出荷見込み。			
	総入荷量		22 t		前年比 129 %	
りんご	¥ 356	¥ 383	=	=	▲	¥ 380 (¥ 382)
	産地概況		上旬は青森県産早生ふじ、トキ、ぐんま名月の入荷。中旬にかけて長野県産サンふじの入荷。下旬にかけて青森県産サンふじの入荷。産地数量が両産地とも少なく単価は高くなる見込み。			
	総入荷量		220 t		前年比 105 %	
ぶどう	¥ 1,595	¥ 1,641	=	▲	▲	¥ 1,800 (¥ 1,786)
	産地概況		上旬は長野産シャインマスカットが主に入荷予定、後半にかけて単価が高くなっていく見込み。			
	総入荷量		12 t		前年比 120 %	
いちじく	¥ 1,081	¥ 1,097	=	=	=	¥ 1,100 (¥ 1,092)
	産地概況		愛知県産、石川県産とも降雨の影響を受け数量は前年より大幅に減少した。当初11月中旬まで出荷予定となっていた石川県産は早めの終了を予定。愛知県産は上旬で終了。			
	総入荷量		3 t		前年比 108 %	

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）
バナナ	¥ 210	¥ 210	=	=	=	¥ 210 (¥ 222)
	産地概況		フィリピンの現地生産は順調なれど、インフラや入船遅れなど懸念材料も多し。また天候の影響によっては小房傾向が続く。南米産は品質に注意する。			
	総入荷量		1,400 t		前年比 100.0 %	
オレンジ	¥ 280	¥ 280	=	=	=	¥ 280 (¥ 270)
	産地概況		オーストラリア産ネーブルは月末まで販売し、12月よりバレンシアを予定。入船の乱れはあるが、品不足は軽微の予想。価格は保合を見込む。			
	総入荷量		10.0 t		前年比 90.0 %	
グレープフルーツ	¥ 210	¥ 220	▼	=	=	¥ 220 (¥ 246)
	産地概況		チリ産は40玉・45玉・50玉・55玉と満遍なく販売へ。価格はオーストラリア産よりやや安値に転じる。年内はこの産地を継続する。			
	総入荷量		7 t		前年比 80.0 %	
レモン	¥ 330	¥ 330	=	=	▲	¥ 350 (¥ 397)
	産地概況		チリ産は在庫販売を継続、価格は保合で推移。品質に注視しながら12/初まで販売予定。			
	総入荷量		6 t		前年比 85.0 %	
パイナップル	¥ 235	¥ 230	=	=	=	¥ 210 (¥ 181)
	産地概況		フィリピン産の入荷。価格は保合で推移。			
	総入荷量		42 t		前年比 100.0 %	
キウイ	¥ 710	¥ 700	=	=	▼	¥ 650 (¥ 621)
	産地概況		ニュージーランド産はゴールドキウイが中玉の販売で、月末までに終了。これ以降は国産サンゴールドの販売へ移行する。グリーンキウイは小玉が不足のまま、12月末まで販売予定。			
	総入荷量		100 t		前年比 90.0 %	